康生会 武田病院

2023年 夏号

地域医療連携だより

「足の外科センター」が設立されました

～専門医３名が複雑な解剖の足の診断・治療に対応～

整形外科における足の外科では、足首周囲から足先までの範囲を扱っています。当院、足の外科センターは、足の外科医 3 名（常勤医師 2 名、非常勤医師 1 名）が、専門性を発揮し、安全な医療のご提供に努めております。

足の疾患・外傷の患者さんの受診数は年々増加しており、昨年の手術実績は整形外科全手術 903 件中 288 件が足の外科関連手術でした。こうした外科手術だけでなく、とくに慢性疾患については保存的治療で機能の再獲得を目指しています。何より、足の病気でお困りの患者さんが人生をより良く過ごしていただけるよう、地域の皆さんのご期待に沿えるよう、日々努力を続けています。

足は複雑な解剖のため、診断に難渋する疾患が多い分野と言えます。足の疾患でお困りの患者さんがおられましたら、診断・治療方針のご相談をされるようなお気持ちでご紹介いただければと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

整形外科 部長・足の外科センター センター長
牧　昌弘

理念

・思いやりの心
・地域社会の信頼
・職員相互の信頼

基本方針

・ブリッジ・ザ・ギャップス
・患者さんの権利尊重
・信頼の医療に向けて
・地球にやさしい環境づくり

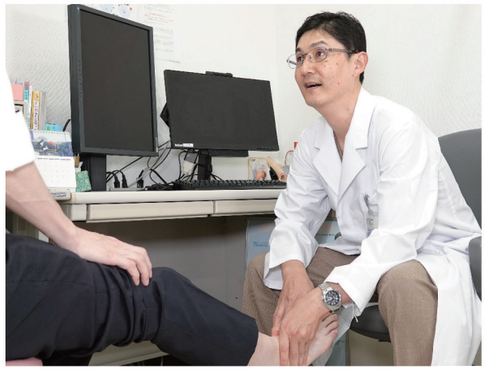
環境方針

・省資源・省エネルギーの推進
・廃棄物の3R
（減らす、再使用、再資源化）の推進
・安全性・快適性の推進
・環境広報活動の推進

武田病院での足の外科治療

1. 足関節鏡手術

当院では昨年の足の外科関連手術 288 件のうち関節鏡の手術は 88 件を占めています。ねんざ癖に対する鏡視下靱帯縫合術、末期関節症に対する鏡視下関節固定術、関節内病変に対する鏡視下手術など実施数は近年増加しています。

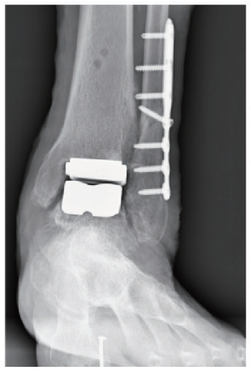


整形外科 部長・足の外科センター センター長　牧 昌弘

2. 人工足関節置換術

変形性足関節症に対する手術治療には関節温存手術、鏡視下足関節固定術、人工足関節置換術があり、患者さんの生活環境や重症度に応じて選択しています。当院では日本足の外科学会認定医師のみに使用が認められている人工足関節インプラントを採用しています。

手術前

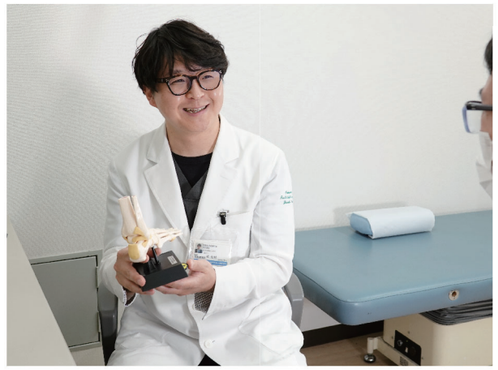


手術後

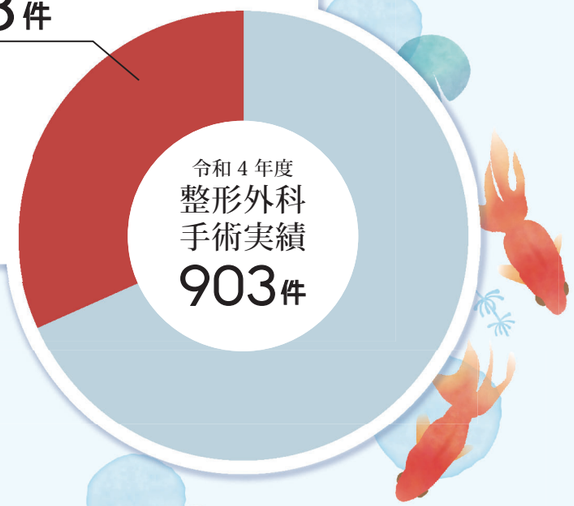
3. 体外衝撃波治療

歩行時の踵痛の原因で最も多いのが足底腱膜炎です。足底腱膜炎はストレッチングが大変有効ですが、1 割ほどが難治性となります。当院では 2014 年から難治性足底腱膜炎に対して体外衝撃波治療を導入し、良好な成績を得ています。体外衝撃波治療は 1992 年にドイツで報告された治療法であり、基礎研究で変性部における血管新生を誘導し、組織修復を促進すると言われています。

踵痛に困っておられる患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。



整形外科 医長　原 佑輔



足の外科センターの治療方針について

外傷では、足の機能解剖を意識した治療方針を立て、保存治療・手術治療のいずれにしても運動機能の再獲得を目指します。一方、慢性障害では、リハビリテーション治療、装具治療、薬物治療、注射治療などの保存治療も重要と考えています。保存治療を行なっても日常活動に支障がある場合は手術治療を考慮します。

診療担当医表	月	火	水	木	金	土
午前 9：00 ～ 12：30		原 佑輔 予約のみ	生駒 和也 予約のみ		牧 昌弘 予約のみ	
午後 14：00 ～ 16：00	原 佑輔 予約のみ	原 佑輔 予約のみ				第 1.3.5 週 牧 昌弘 予約のみ

リハビリテーション科との連携

機能改善はもとより QOL を重視したリハビリを実践

当リハビリテーション科では足の外科外来と綿密に連携し、日々、多くの患者さんのリハビリを行っています。主な疾患は足関節に付随するような外反母趾・扁平足・強剛母趾・三角骨障害・変形性足関節症などが挙げられ、保存加療や術後のリハビリを提供しています。その他にも足底腱膜炎やアキレス腱付着部症に対するストレッチ指導を行い、日常生活上の疼痛の軽減や症状の悪化予防も含めたアプローチを実施しています。

またスポーツによる受傷も多いため、競技特性に合わせたリハビリのご提供で患者さんのスポーツ復帰を支援しています。リハビリ提供にあたっては、機能改善だけでなくＱＯＬの向上も重視した関わり方を大切にしています。

膠原病・リウマチ性疾患の専門クリニックを京都駅近にオープン

地域の先生・他の診療科との連携治療を目指します

高齢化に伴い、膠原病・リウマチ性疾患の患者さんは増加を続けています。その一方で、専門の診療科を構える医療機関はまだまだ少なく、ニーズに施設開設が追い付いていないのが現状です。また同疾患は、似た症状の病気が多くあるため、見落とされるケースも少なくありません。こうしたことを背景とし、利便性の高い京都駅周辺エリアに「たけだ膠原病リウマチクリニック」を開設させていただきました。専門医による正確なスクリーニング・鑑別などで当クリニックの役割を発揮していきたいと考えております。

とくに膠原病・リウマチ性疾患は、多くの臓器を障害しますので、他の診療科や地域の先生方と連携していくことが求められます。血液検査などで「膠原病かな、リウマチかな」などと思われましたら、相談のつもりでご紹介いただければありがたいです。お一人おひとりの患者さんを一緒になって治療していければ幸いです。

たけだ膠原病リウマチクリニック

〒600-8216
京都市下京区木津屋橋通新町西入東塩小路町 606-3-2
三旺京都駅前ビル 1 階

お問い合わせ：075-351-8282

患者サポートセンター

受付時間

月曜日～金曜日 **8:30～19:00** 土曜日 **8:30～17:00**

※日曜日・祝日・祭日・年末年始はお休みいたします。

武田病院

患者サポートセンター

医療機関専用 **TEL（075）361-1352**（直通）
FAX（075）361-1337（専用）

※患者サポートセンターの受付時間外につきましては、医事部（医療事務）にて対応いたします。

TEL（075）361-1351（代表） **FAX（075）361-1268**（医事部専用）

地域医療連携だより
（23.07.25）

地域医療支援病院　医療法人財団康生会武田病院　発行
京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町 841-5　TEL：075-361-1351（代表）